

平成25年7月26日

矢巾町長川村光朗様

三陸の海を放射能から守る岩手の会（盛岡市）
クランボンの会（矢巾町）
矢巾生活と健康を守る会（矢巾町）
他 別記13団体

放射能汚染物ホダ木等の焼却処理に関する質問と要望書

日頃、矢巾町民の生活や福祉のためご尽力に敬意を表します。

私達は、六ヶ所再処理工場から放出される放射能汚染水による海洋汚染や放射能汚染物の焼却処理を憂慮し活動している市民団体です。

この度は、矢巾町の盛岡・紫波地区環境施設組合（清掃センター）で放射性セシウムに汚染されたホダ木を焼却する計画があると聞き大変心配しています。

私達は放射能汚染物の焼却の問題について、計画当初から疑念を抱き、国の災害廃棄物安全評価検討会各委員へ要望書、国へ質問主意書を提出し回答を得るなど疑問解明と中止を訴えてきました。しかし、何ら科学的な安全証明が提示されることなく疑問は深まるばかりで、原発事故により放射能で汚染された県土が焼却処理により更に汚染され県民の健康や生活環境が脅かされるのではないかと危機意識を持っております。

私達が心配する以下の項目にお答え頂きたいようお願い申し上げます。

また後段の要望書のご検討をお願いします。

放射能汚染物の焼却処理に関する質問書

1) 焼却処理場のバグフィルターで放射性物質が本当に除去できるのですか。

高性能のバグフィルターで0.5ミクロン程度の粒径を持つものまでしか除去できません。気体分子のサイズは0.0001～0.001ミクロン程度であり、0.001～0.5ミクロンの粒径を持つ微粒子は除去できないことになりませんが問題ないのでしょうか。お答えください。バグフィルターと排気筒との間に入っているサイレンサーの写真をご覧ください。バグフィルターで微粒子を除去できないことがわかります。（資料1、2、追加資料2）

2) バグフィルターで除去できない0.001～0.5ミクロンの粒径を持つ微小粒子は呼吸により肺の奥深くまで入り込むことがわかっています。また屋内にも入り込みやすいことがわかっています。この事実をどう評価しますかお知らせください。

（資料3、4、5、6）

3) 東京都や神奈川県の小学校で焼却場の稼働・停止にともない喘息の児童が増減した事例をどう判断されますか。これに微小粒子に付着している放射能が加わることになりませんが・・・。（資料7、8、9）

4) 焼却場で生ずる放射性セシウムを含む焼却灰から、降雨によりその殆どがイオンとして溶け出すことが国の資料からわかっています。特に大雨時にはゼオライト・粘土などの

層で吸着されるいとまもなく処理水として溶け出します。現に県内の最終処分場から放射性セシウムが検出されています。処分場の水処理方式ではセシウムを除去できません。これでは放出先の河川や海が汚染されます。見解をお知らせください。

(資料10、11)

5) 焼却場の従業員の被曝管理は大丈夫ですか。2005年の原子炉等規制法改正によるクリアランス制度では放射性セシウムについて100ベクレル/kg以上は放射性物質扱いとし埋設などは行わないことになっていました。焼却作業者は日常的に100ベクレル/kg以上の放射性セシウムを扱うこととなります。従業員の健康管理、日常的な被曝線量の評価記録などは厳重に行い、もし健康被害が出た場合の保障などの体制はできているのでしょうか。

6) 放射性物質は微量でも危険という、米国科学アカデミーによる大規模疫学調査結果が公表されています。

矢巾町民をはじめ周辺の人々を余計な被曝にさらさない慎重さが求められるはずですが、この調査結果をどう判断されますか。

(資料12、15)

7) 放射性セシウムは特定臓器に濃縮し集中被曝することが指摘されています。また胎児・乳児など幼少者ほど影響を受けやすいことが知られています。“内部被曝”についてその影響を正確に数値であらわすことは困難なのですが、仮定に基づく計算(シーベルト単位)により使用されています。6) やチェルノブイリ事故で起きている実際の被害とシーベルトとの関係の吟味ご確認の上ご使用お願いします。ご見解があればお知らせください。

(資料13)

以上

.....

【標記3団体以外の提出13団体名】 合計提出16団体

矢巾はかる会 (矢巾町)

春をよぶ会 (盛岡市)

子供達の放射線被ばく低減化を推進する盛岡の会 (盛岡市)

ブドリとネリの会 (盛岡市)

無限洞 (盛岡市)

イーハトーブ雫石を守る会 (雫石町)

お産ば通信 (花巻市)

宮古市放射能汚染物の焼却中止を求める会 (宮古市)

放射能から子どもを守る岩手県南・宮城県北の会 (岩手県一関市)

岩手有機農業研究会 (岩手県)

緑の党いわて準備会 (岩手県)

放射能を拡散させない市民有志の会 (秋田県横手市)

ノーモア放射能とやまネットワーク (富山県)

平成25年7月26日

矢巾町長川村光朗様

三陸の海を放射能から守る岩手の会(盛岡市)
クランボンの会 (矢巾町)
矢巾生活と健康を守る会 (矢巾町)
他 別記13団体

放射能汚染物の焼却処理に関する要望書

矢巾町民へ上記質問書の回答を公開し、説明会を開催した上で放射能汚染物の焼却を検討していただけないでしょうか。

焼却処理は焼却による大気や土壌汚染、焼却灰による水質汚染など放射能を拡散させる可能性があります。焼却ではなく、雨水を避けそのままの保管やペレット化、土壌埋設などの方法の検討をお願い申し上げます。議会で審議され決定された事案について、失礼とは思いつつ、事の重大性を考え要望させていただきます。

連絡先

三陸の海を放射能から守る岩手の会 世話人 永田文夫
〒020-0004 岩手県盛岡市山岸 6-36-8 電話・FAX019-661-1002

.....

【標記3団体以外の提出13団体名】 合計提出16団体

- 矢巾はかる会 (矢巾町)
- 春をよぶ会 (盛岡市)
- 子供達の放射線被ばく低減化を推進する盛岡の会 (盛岡市)
- ブドリとネリの会 (盛岡市)
- 無限洞 (盛岡市)
- イーハトーブ雫石を守る会 (雫石町)
- お産ば通信 (花巻市)
- 宮古市放射能汚染物の焼却中止を求める会 (宮古市)
- 放射能から子どもを守る岩手県南・宮城県北の会 (岩手県一関市)
- 岩手有機農業研究会 (岩手県)
- 緑の党いわて準備会 (岩手県)
- 放射能を拡散させない市民有志の会 (秋田県横手市)
- ノーモア放射能とやまネットワーク (富山県)